



2017年6月期 決算説明会

2017.08.29

1. 決算の概要
2. セグメント別状況
3. 2018年6月期（第60期）の見通し
4. 中長期的な経営方針

【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

決算の概要

損益計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期)	'17/6期 (第59期)		対前期 増減額	対前期 増減率
		計画	実績		
売上高	10,947	11,500	11,852	905	8.3%
売上原価	5,568	—	6,349	780	14.0%
売上総利益 (利益率)	5,378 (49.1%)	—	5,502 (46.4%)	124	2.3%
販売費及び一般管理費	4,370	—	4,512	141	3.2%
営業利益 (利益率)	1,007 (9.2%)	1,100	990 (8.4%)	△17	△1.7%
営業外損益	△64	—	△85	△21	—
経常利益 (利益率)	943 (8.6%)	1,040	905 (7.6%)	△38	△4.0%
特別損益	△1	—	△12	△11	—
税引前当期純利益	941	—	892	△49	△5.2%
法人税等	270	—	276	6	2.3%
当期純利益 (利益率)	671 (6.1%)	690	615 (5.2%)	△55	△8.3%
配当金	中間：@15 期末：@40	期末：@60	1Q：@10 2Q：@10 3Q：@10 期末：@30		

<売上高>

売上高は前期比8.3%増の118億52百万円。

エンジニアリングコンサルティングは7.3%増の94億19百万円、プロダクツサービスは12.3%増の24億33百万円となり、両セグメントともに売上は増加。

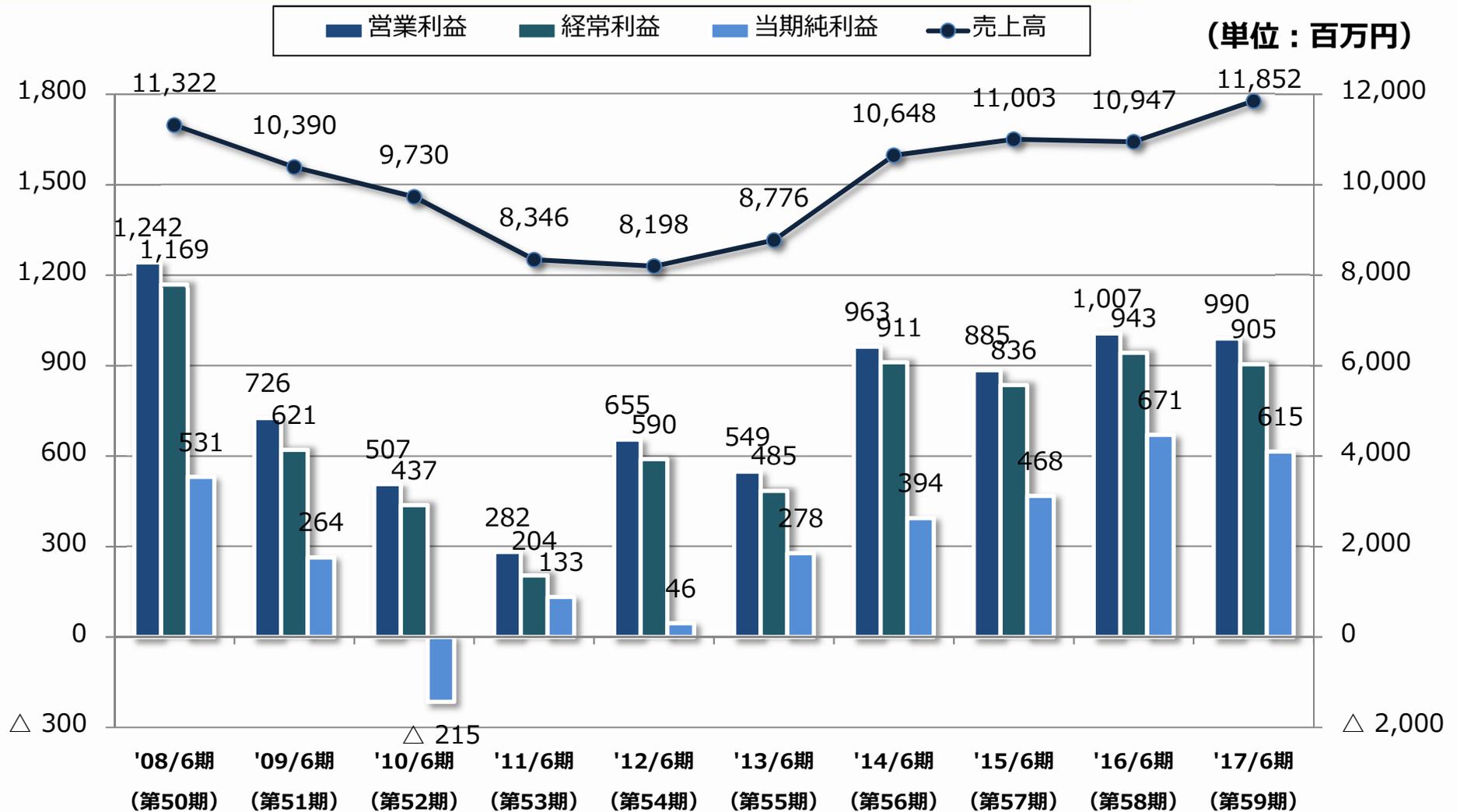
<利益>

前期と比較し、大型不採算プロジェクトの影響により増収減益となる。

<配当>

第59期より四半期配当を実施。前期比5円増の年間配当60円。

業績推移



貸借対照表ハイライト

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期) 期末	'17/6期 (第59期) 期末	増減額		'16/6期 (第58期) 期末	'17/6期 (第59期) 期末	増減額
流動資産合計	3,532	3,177	△355	負債合計	7,321	6,819	△501
現金及び預金	385	411	25	流動負債	3,713	3,763	49
売上債権	1,402	1,388	△13	短期借入金※	1,193	1,045	△147
仕掛品	990	549	△440	未払金	292	489	197
固定資産合計	6,927	7,305	377	固定負債	3,607	3,056	△551
有形固定資産	5,077	5,156	78	長期借入金	1,740	1,095	△645
無形固定資産	313	455	141	純資産合計	3,139	3,662	523
投資その他の資産	1,536	1,692	156	利益剰余金	3,078	3,371	292
資産合計	10,460	10,482	21	負債・純資産合計	10,460	10,482	21

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

自己資本比率	'16/6期 (第58期)期末	30.0%	'17/6期 (第59期)期末	34.9%
ROE	'16/6期 (第58期)期末	21.3%	'17/6期 (第59期)期末	18.1%

資産の変化 (21百万円)

- **流動資産の減少 (△355百万円)**
現金及び預金の増加 (25百万円)
売上債権の減少 (△13百万円)
仕掛品の減少 (△440百万円)
- **固定資産の増加 (377百万円)**
無形固定資産の増加 (141百万円)
投資その他の資産の増加 (156百万円)

負債の変化 (△501百万円)

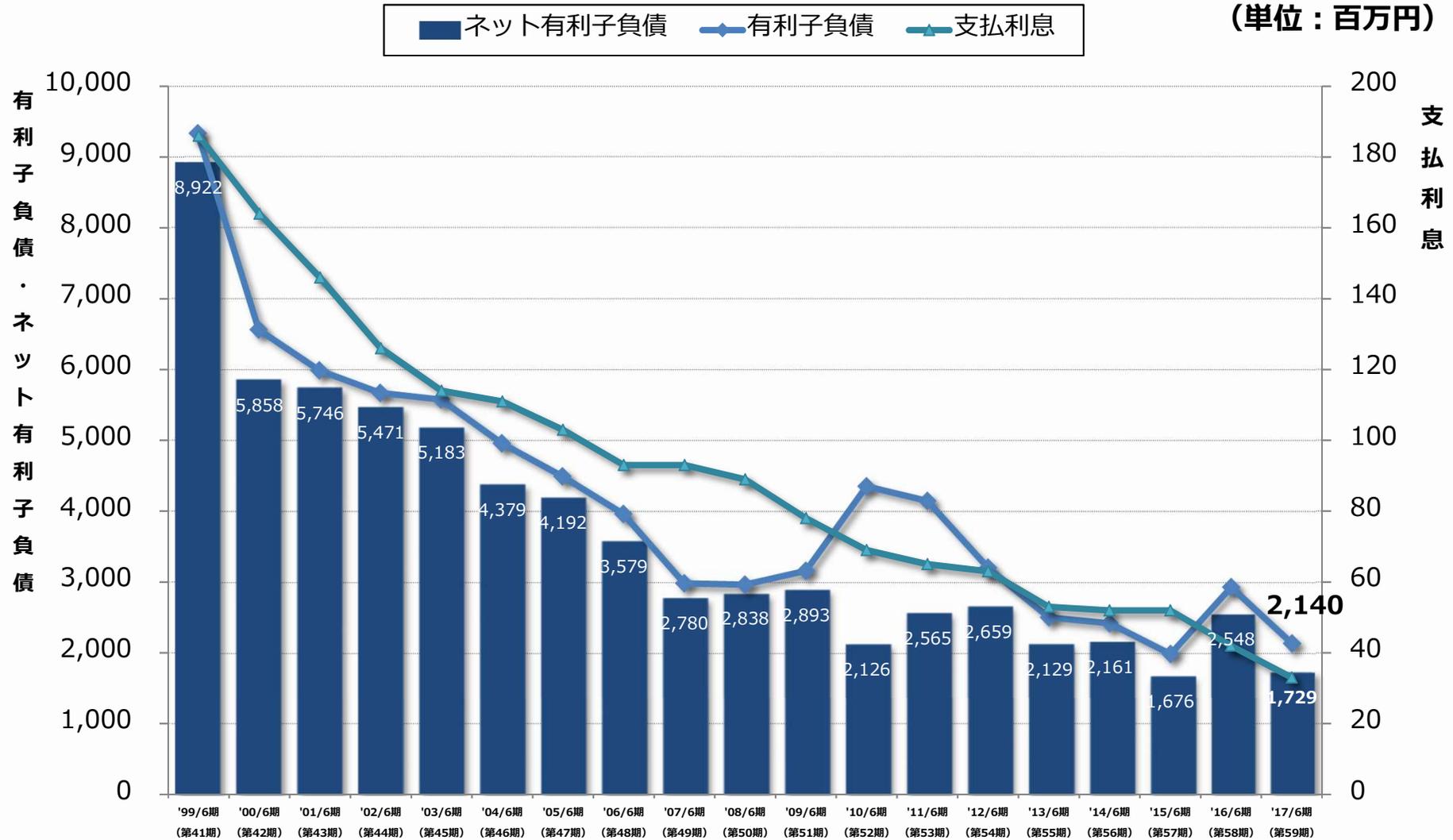
- **流動負債の増加 (49百万円)**
短期借入金の減少 (△147百万円)
未払金の増加 (197百万円)
- **固定負債の減少 (△551百万円)**
長期借入金の減少 (△645百万円)

純資産の変化 (523百万円)

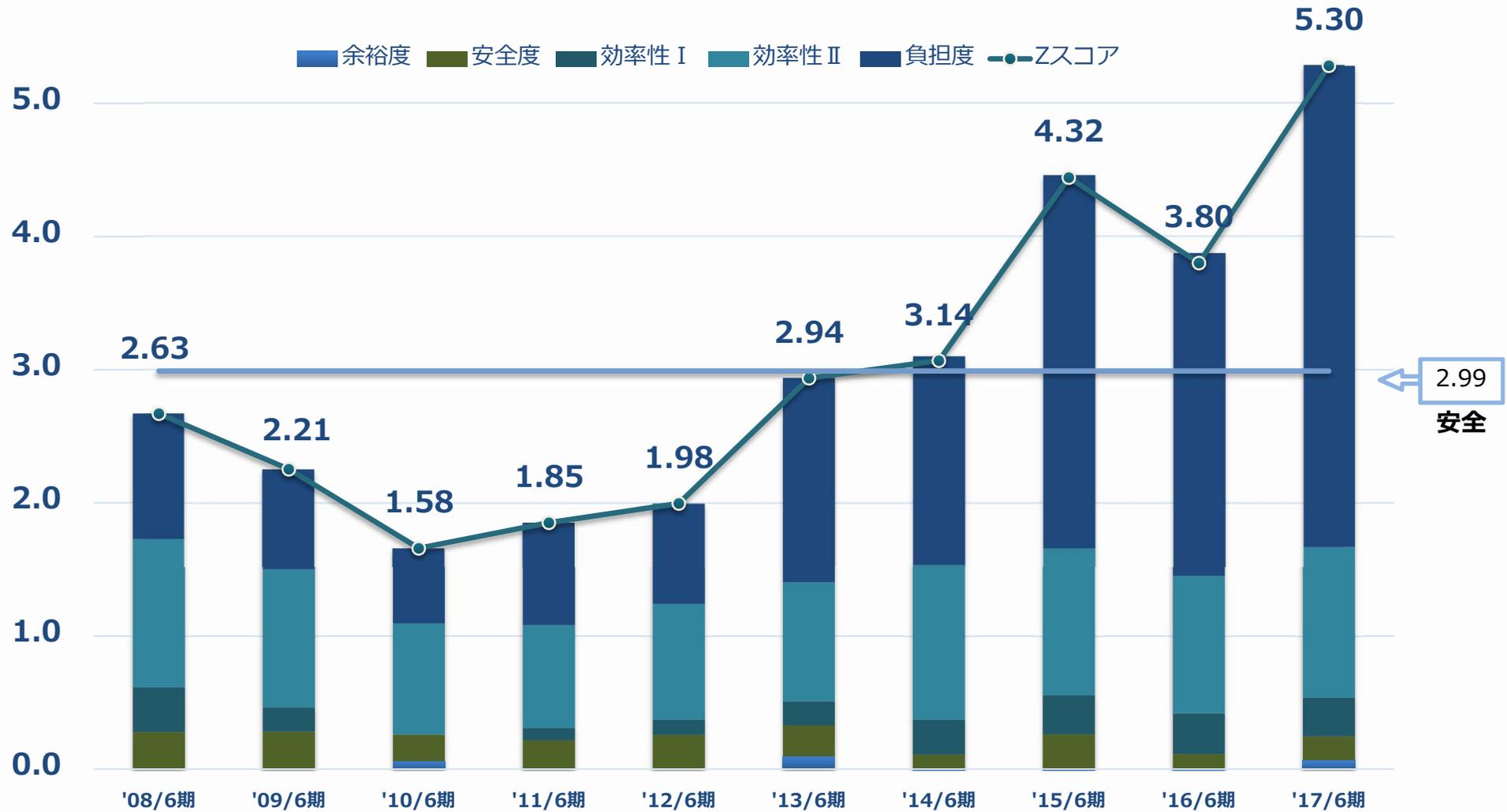
- **利益剰余金の増加 (292百万円)**
- **自己株式の減少 (213百万円)**

ネット有利子負債

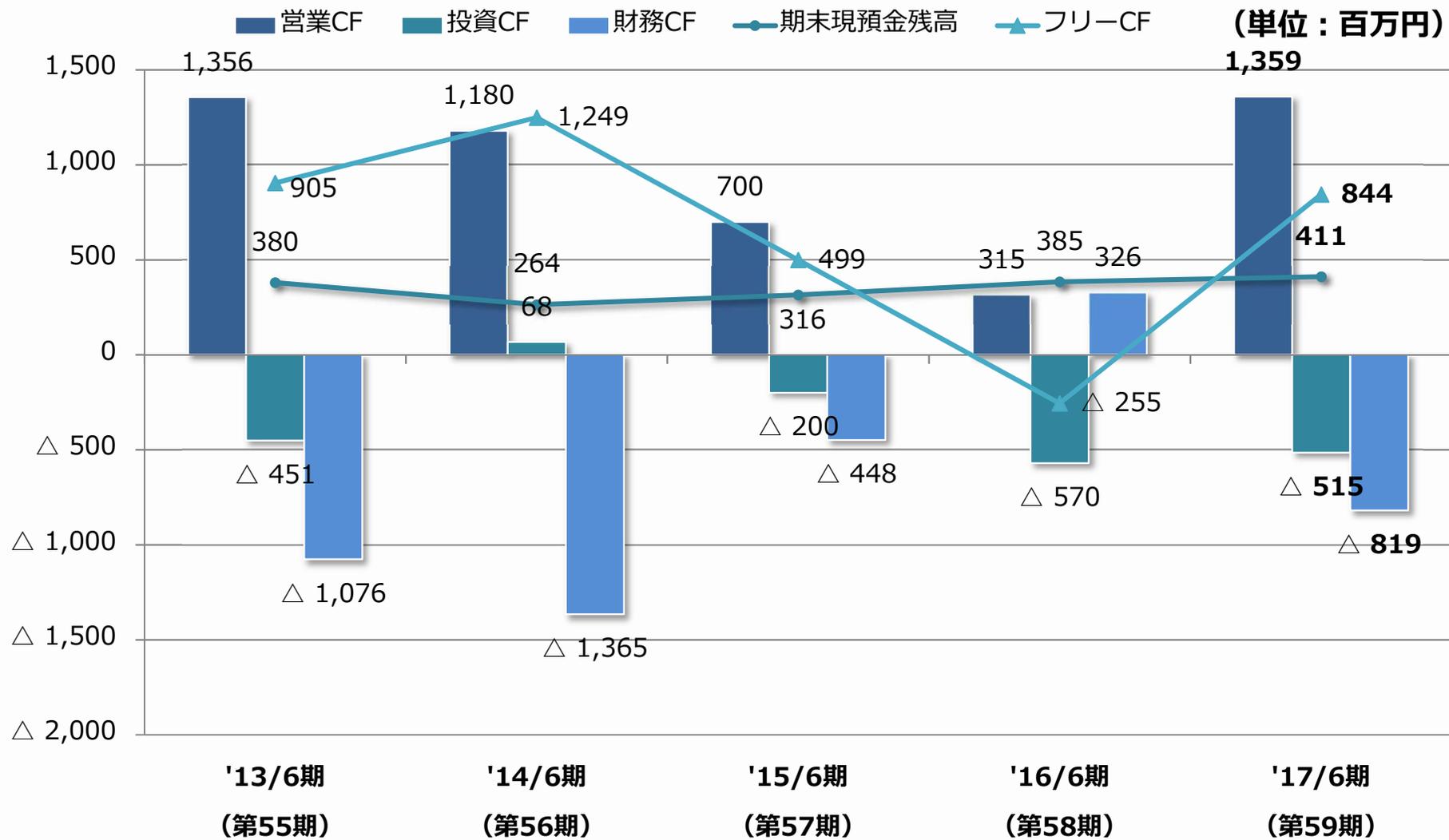
(単位：百万円)



Zスコアの推移('08/6期~'17/6期)



キャッシュ・フローの推移



キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期)	'17/6期 (第59期)	増減額
期首現預金残高	316	385	69
営業活動CF	315	1,359	1,044
投資活動CF	△570	△515	55
フリーCF	△255	844	1,099
財務活動CF	326	△819	△1,145
期末現預金残高	385	411	25

営業活動CFの主な内容

税引前当期純利益	892
たな卸資産の減少	416 仕掛品の減少
法人税等の支払	△249

投資活動CFの主な内容

投資有価証券の取得	△69 MIC、けいはんな取得
関係会社出資金の取得	△59 RMV社追加出資等
無形固定資産の取得	△261 LockState販売権等

財務活動CFの主な内容

短期借入金の純減	△430 運転資金
長期借入金の純減	△363 ネット返済額
配当金支払	△329 四半期配当の実施

2 セグメント別状況



エンジニアリングコンサルティング

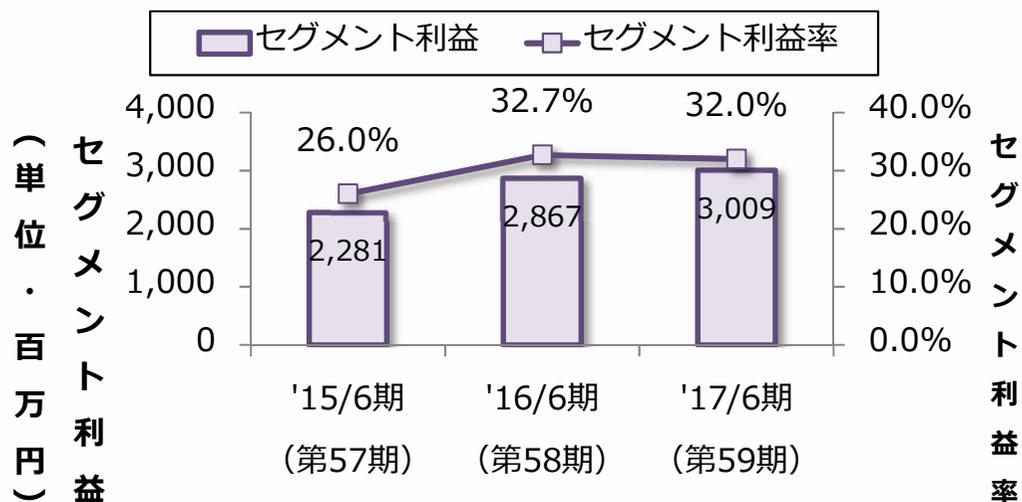
(単位：百万円)

	'15/6期 (第57期)	'16/6期 (第58期)	'17/6期 (第59期)	対前年同期 増減額 (増減率)
受注高	9,367	9,255	9,434	179 (1.9%)
売上高	8,768	8,780	9,419	638 (7.3%)
セグメント利益 (利益率)	2,281 (26.0%)	2,867 (32.7%)	3,009 (32.0%)	142 (5.0%)
受注残高	3,738	4,212	4,227	15 (0.4%)

- ◆ 防災・耐震・環境評価コンサルティング
- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ マーケティングコンサルティング
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

- 住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務、構造設計コンサルティング業務、防災・減災のための解析業務が堅調に推移
- 大型プロジェクトの不採算化が利益率を低下させる要因となったものの、他の高収益案件により、堅調に利益を確保



プロダクツサービス

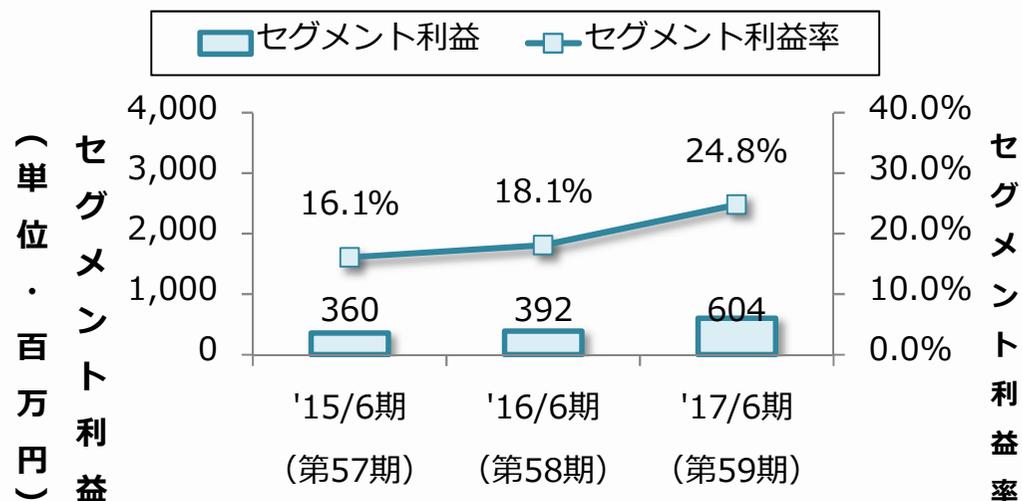
(単位：百万円)

	'15/6期 (第57期)	'16/6期 (第58期)	'17/6期 (第59期)	対前年同期 増減額 (増減率)
受注高	2,285	2,257	2,458	201 (8.9%)
売上高	2,234	2,166	2,433	266 (12.3%)
セグメント利益 (利益率)	360 (16.1%)	392 (18.1%)	604 (24.8%)	211 (54.0%)
受注残高	877	968	993	25 (2.6%)

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト
- ◆ 画像認識ソフト
- ◆ クラウド関連サービス
- ◆ コンサルティング・教育トレーニング

業績分析

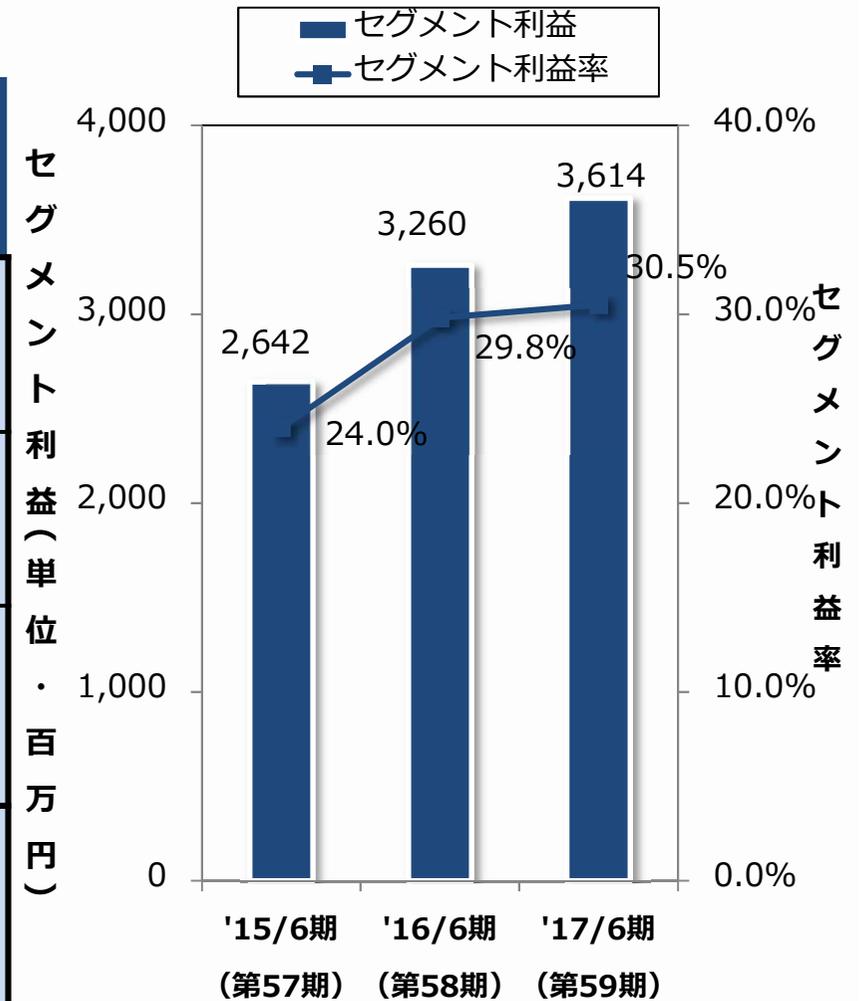
- 設計者向けCAEソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、クラウド関連メール配信サービス、統計解析ソフトなどの販売が堅調に推移



セグメント合計

(単位：百万円)

	'15/6期 (第57期)	'16/6期 (第58期)	'17/6期 (第59期)	対前年同期 増減額 (増減率)
受注高	11,653	11,512	11,892	380 (3.3%)
売上高	11,003	10,947	11,852	905 (8.3%)
セグメント 利益 (利益率)	2,642 (24.0%)	3,260 (29.8%)	3,614 (30.5%)	354 (10.9%)
受注残高	4,615	5,180	5,221	40 (0.8%)



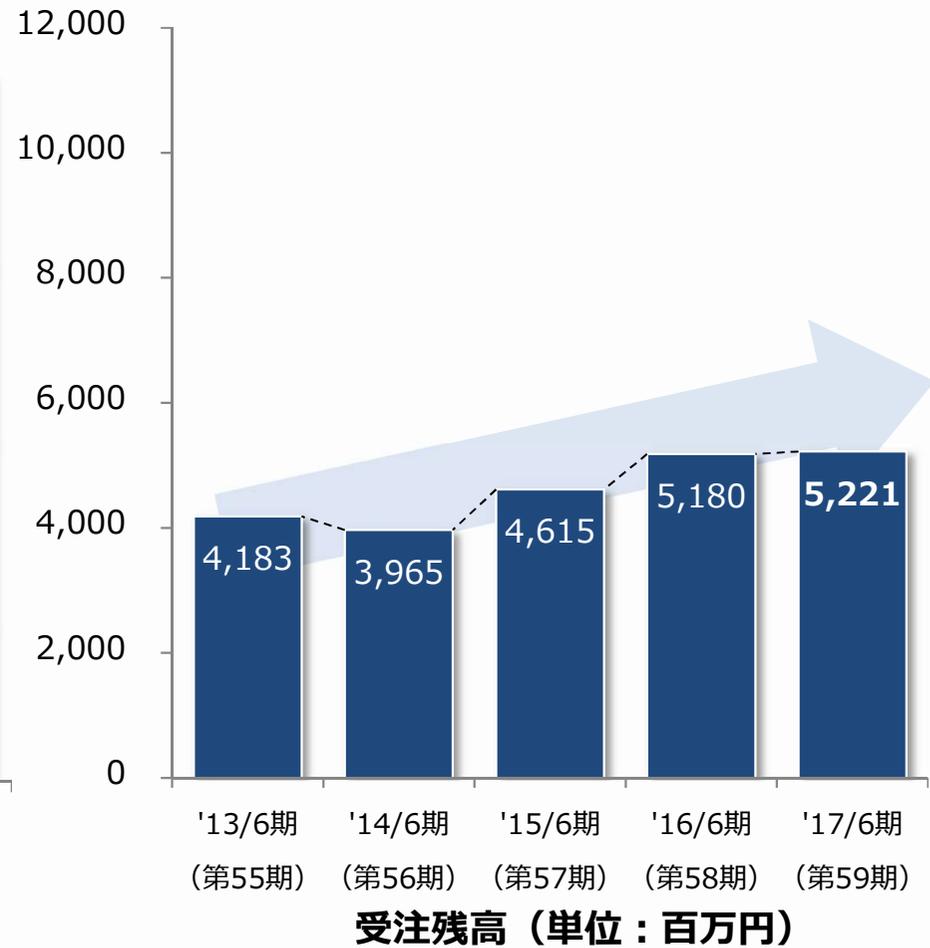
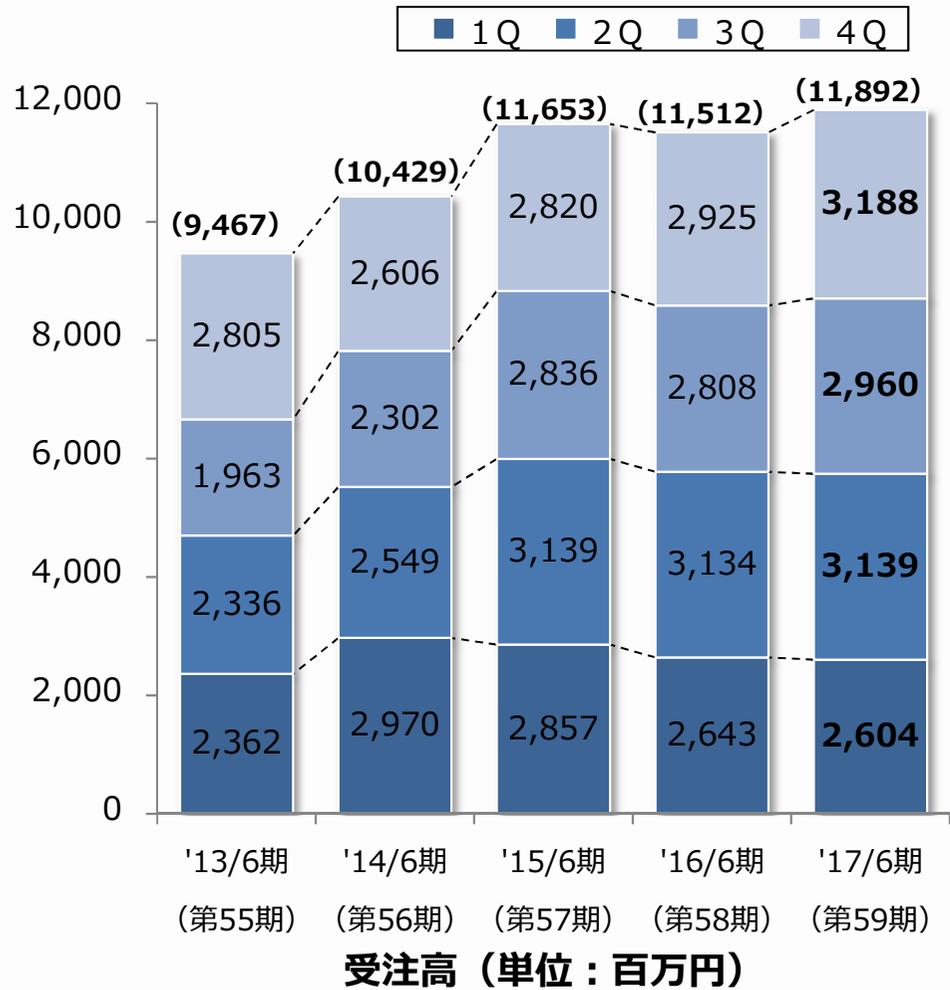
3

2018年6月期（第60期）の見通し



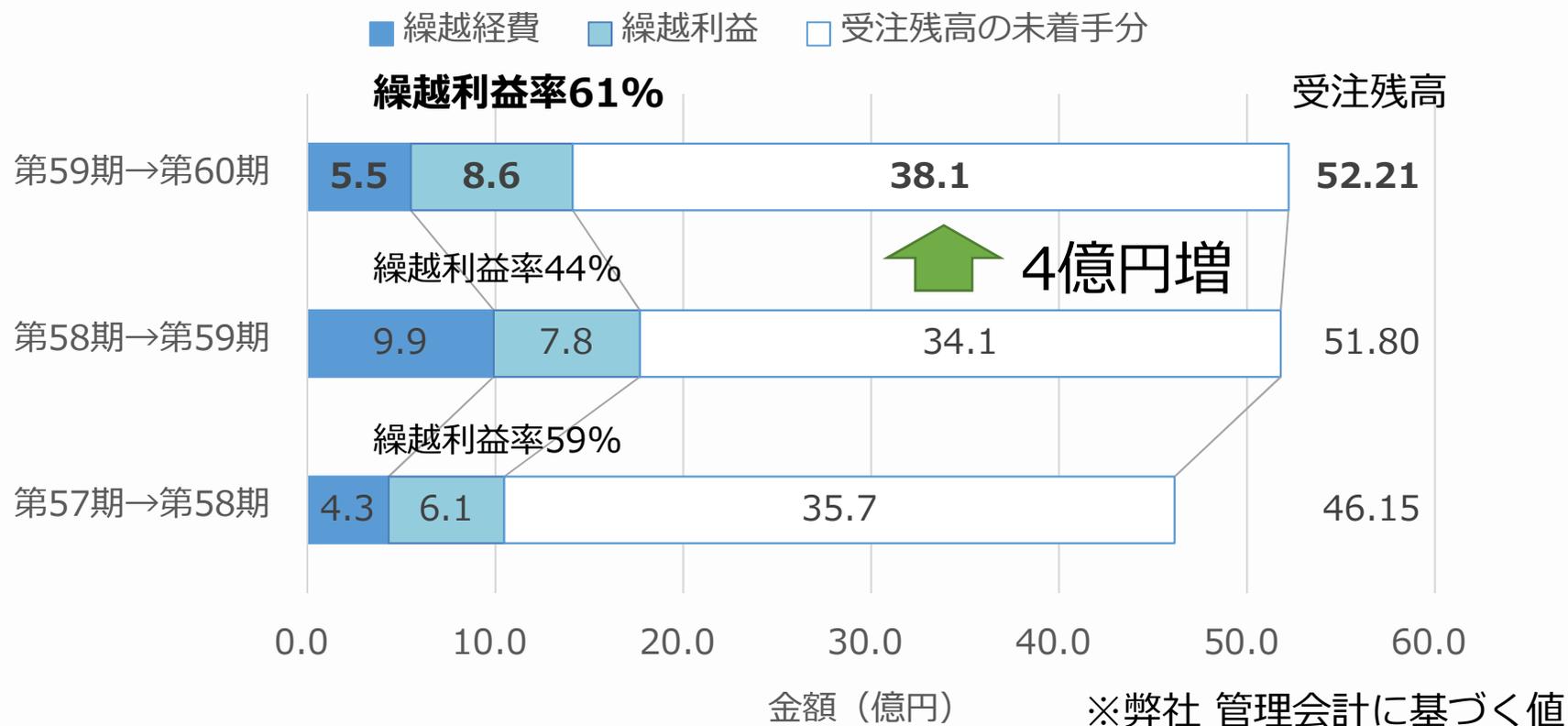
- 事業本来の収益力を表す営業利益の重視
+
成長の源泉となる優秀な人材確保のための人件費及び福利厚生費
= 総付加価値
- 事業投資とのバランスを勘案した期末ネット有利子負債の削減
- 高い利益率と有効な投資によるROEの向上
- 中長期保有株主に対する持続的な配当政策の推進

受注高実績と期末繰越受注残高



期初の状況は前年度よりも良好

- 着手済み分の繰越利益率が前期から大きく改善
- 未着手分の受注残高も前期から4億円（12%）増加



2018年6月期（第60期）計画

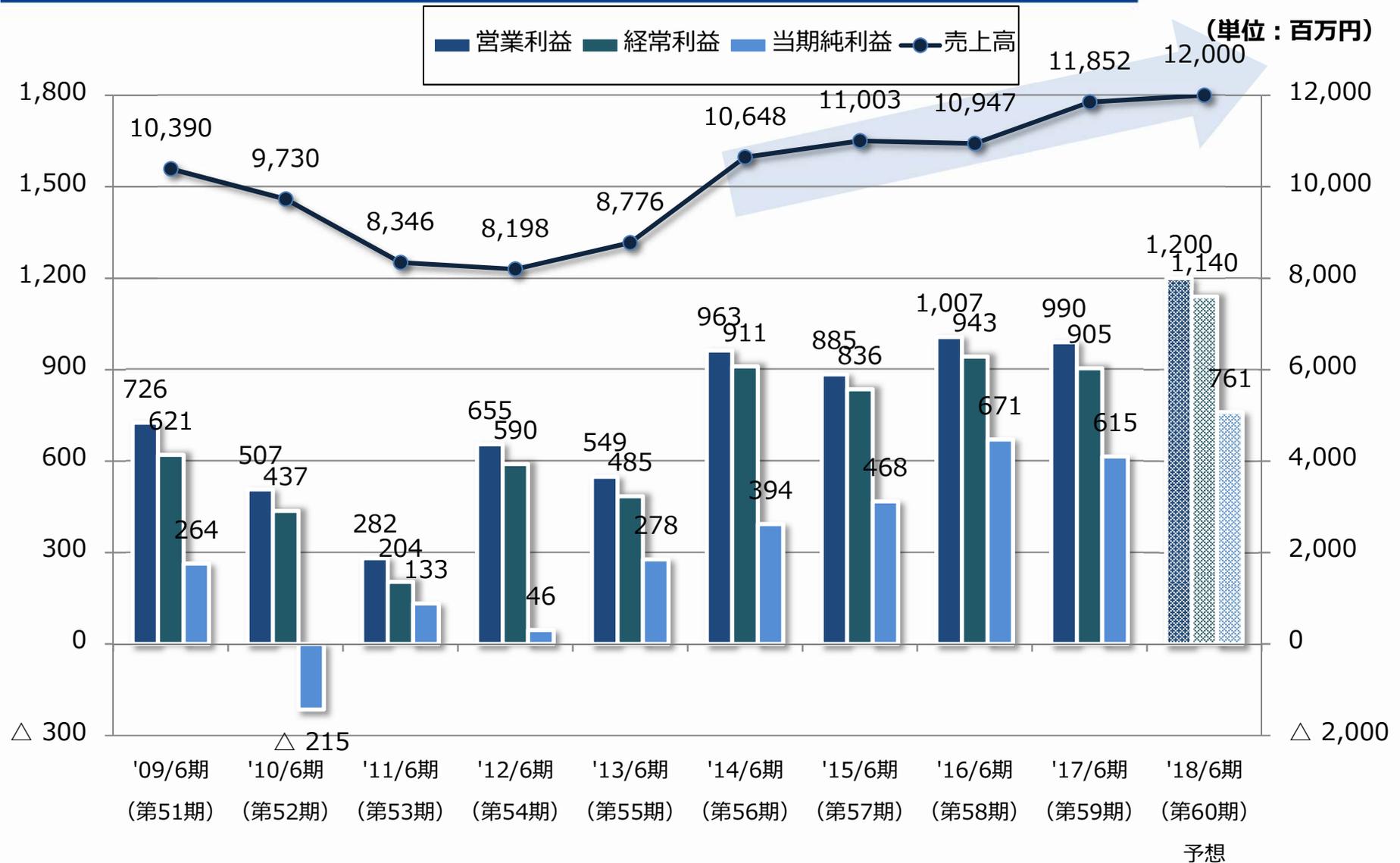
(単位：百万円)

	17年6月期 第59期	18年6月期 第60期 (予想)	増加額	増加割合
売上高	11,852	12,000	147	1.2%
営業利益	990	1,200	209	21.1%
経常利益	905	1,140	234	26.0%
当期純利益	615	761	145	23.7%

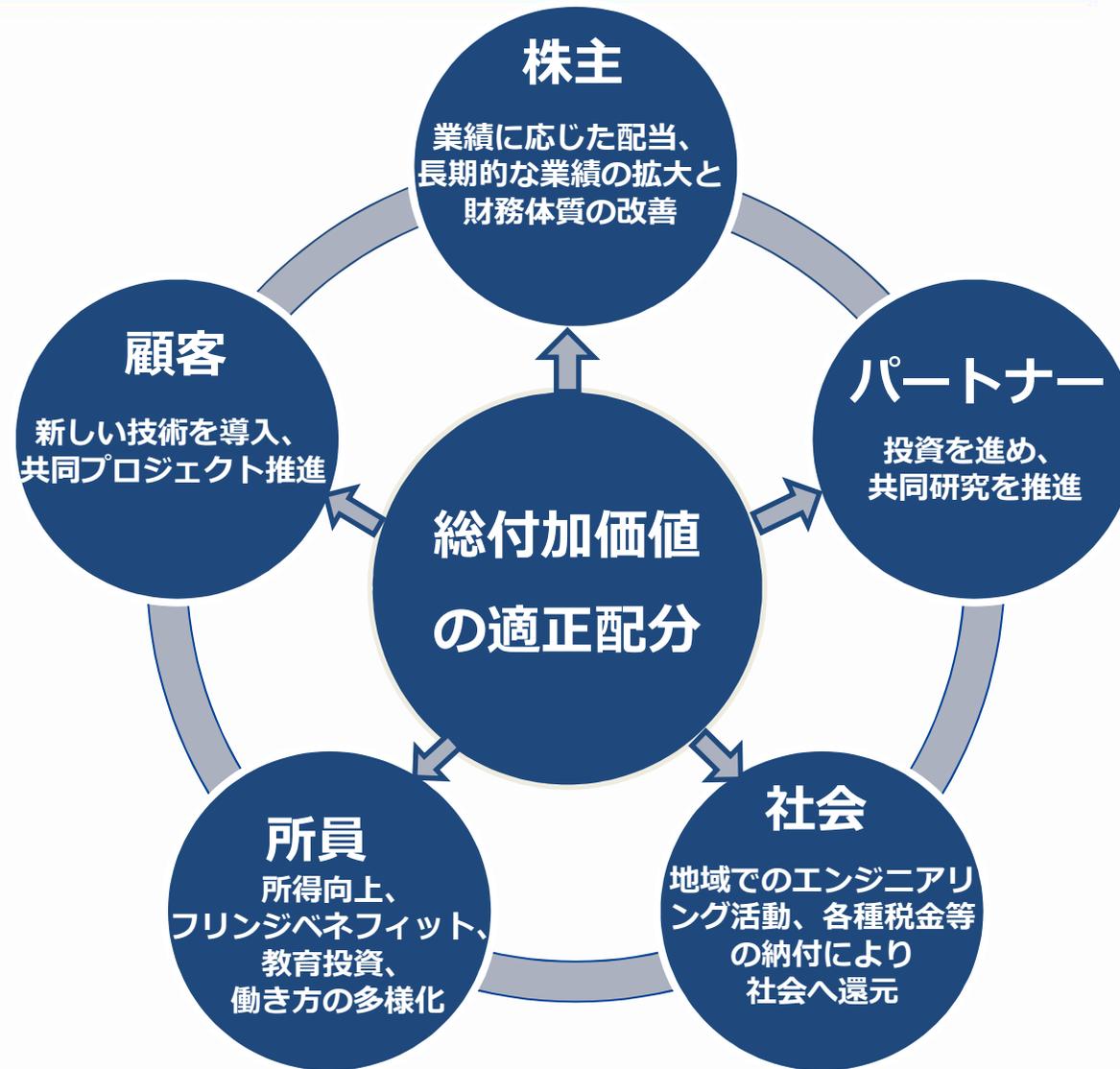
(単位：円)

年間配当金	60	70
-------	----	----

過去の業績推移と業績予想

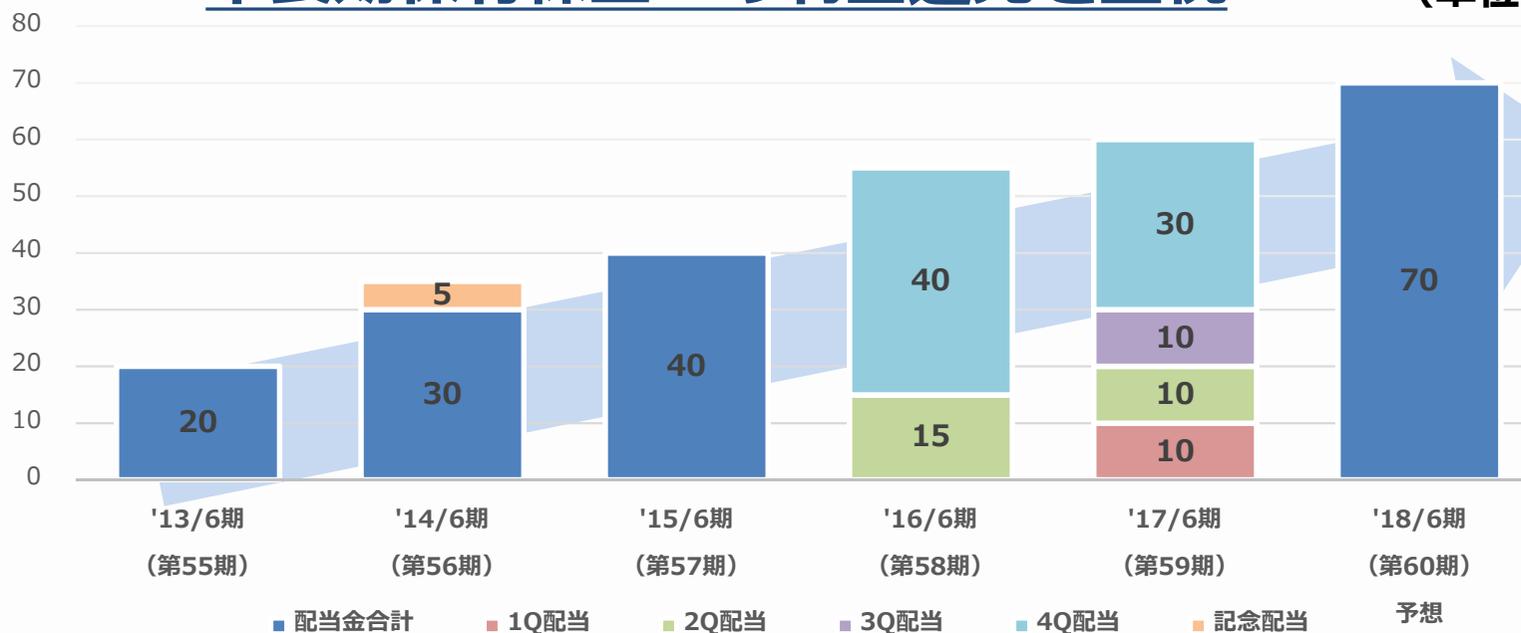


当社をめぐるステークホルダーへの対応



適切な内部留保と事業投資状況を勘案しながら 中長期保有株主への利益還元を重視

(単位：円)



配当性向	40.3%	46.6%	37.7%	36.9%	42.7%	38.1%
配当利回り	1.9%	3.4%	2.6%	2.8%	2.8%	3.3%

※第56期は創立55周年特別配当を実施
 ※第58期は中間配当を実施
 ※第59期から四半期配当を実施

4 中長期的な経営方針

Innovating for a Wise Future

工学知をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮にみちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい

社会を創造するプロセスを言い表すため
Innovatingを使用



継続的な事業拡大と人材育成を通じた企業価値の向上

事業の成長戦略

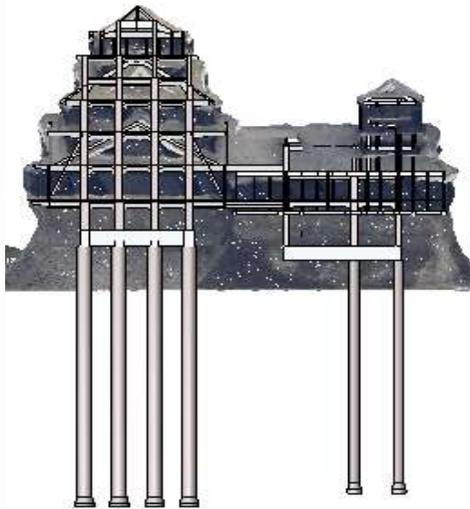
- 高い品質のエンジニアリングコンサルティング提供
- 付加価値向上のためのプロダクツサービス拡大
- パートナーやファンドへの投資を通じた事業拡大

人材の育成戦略

- 外部組織への派遣を通じた複合的視点の獲得
- 海外を含めた多様な人材の参画
- 自己研鑽の場の提供

熊本城天守閣復原（1960年）

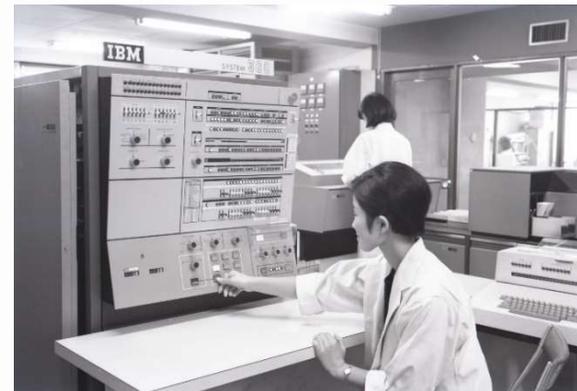
- 地震に対する安全性の確保のため、より厳しい基準で設計
- 40m地下の支持地盤を直接確認



2016年4月の熊本地震後は、
復興の取組にも参画

デジタルコンピュータ導入（1961年）

- 膨大な単純作業を効率化し、技術者が考える時間を確保することで、仮説検証のサイクルを回し、より最適な構造設計の実現へ



事業領域を拡大した現在も、構造解析、
ソフトウェア開発を中心に業務品質確保
の取り組みを重視、より価値の高い
技術・サービスの提供を追求

エンジニアリングコンサルティングの取り組み 風力発電関連ビジネス

風車の大型化や維持管理等の課題解決に取り組みながら エネルギービジネスにより社会貢献を目指す

2013年 電気事業法 安全審査一本化（経済産業省）
再生エネルギーへの社会的要請に応える制度設計

- 当社の業務実績・知識
 - 国内外人脈
産：事業主、海外メーカー、ゼネコン など
官：経済産業省、第三者機関 など
学：東京大学、足利工業大学 など
- 産官学連携構築のモデルケース**



風車ビジネス受注額推移



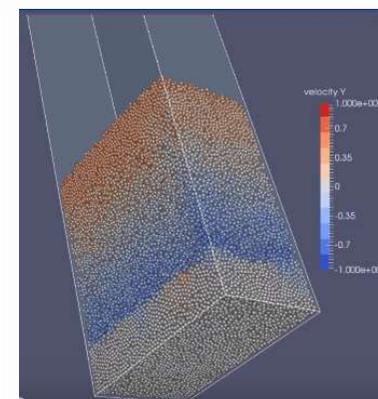
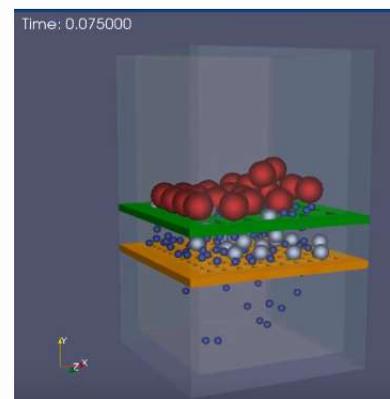
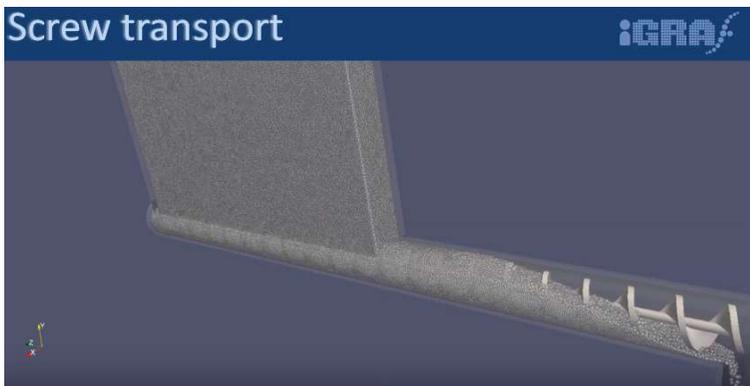
**経験知を積み重ねながら
順調に事業を拡大**

プロダクツサービスの取組み

①粉体シミュレータ



- 従来の気体や流体に加えて粉体のシミュレーションが可能
 - 複雑な形状を持つ装置の粉体シミュレーションが可能
 - 従来は超高性能コンピュータが必要だった固・液・気体の混合シミュレーションが容易に実現可能
- 産学連携による工学知の提供
 - 東京大学 酒井 幹夫教授のアルゴリズムを導入



プロダクツサービスの取り組み

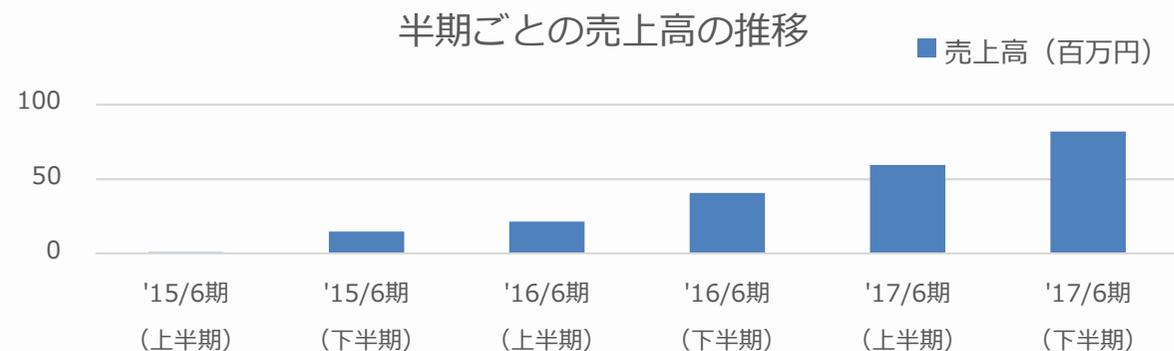
②メール配信サービス

SendGrid

- 米SendGrid社開発のクラウドメール配信サービス
- 企業の販促活動、マーケティング、CRMへの活用等を支援
 - 到達性やセキュリティの向上、迷惑メール対策を提供
 - 初期投資不要：クラウドのメリットを享受
 - 全世界で月間300億通以上のメール配信実績

UBER、Airbnb、ChatWork、CrowdWorks、Misoca、PIXTAなどで利用

ツールの機能とともに
きめ細やかなサポート
の質が評価され、順調
に事業を拡大

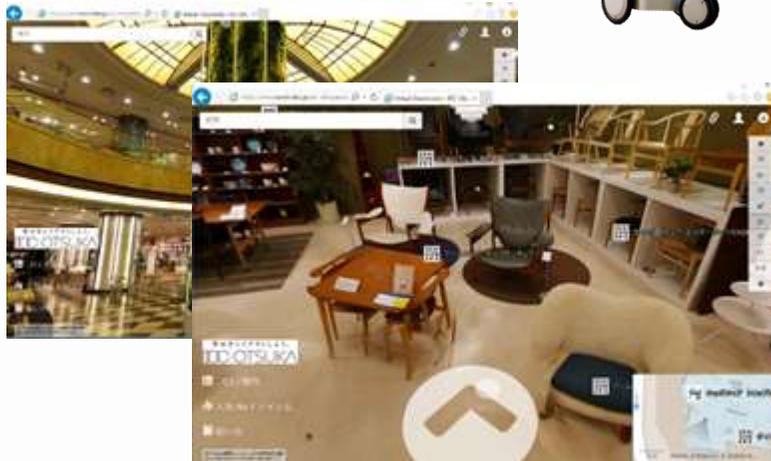


プロダクツサービスの取り組み

③IoT関連ビジネス

屋内3Dマッピング 「NavVis」

NavVis



株式会社大塚家具
バーチャルショールームが本格稼働開始
<https://www.navvis-kke.jp/idc-shinjyuku/iv.html>

Wi-Fi型スマートロック 「RemoteLock」



クラウド経由で複数のキーを一元管理

- 物理的な鍵の受け渡しが不要
- 複数施設の入室権限を一括管理
- 解錠履歴の記録

当社がこれまで培ってきた構築物の事業とのシナジーを目指す

プロダクツサービスの取り組み

③IoT関連ビジネス（続）

介護ベッド用見守りセンサー 「EVER Relief」

経済産業省 公募事業で「バイタルセンサーを用いた施設型見守りシステム」が採択



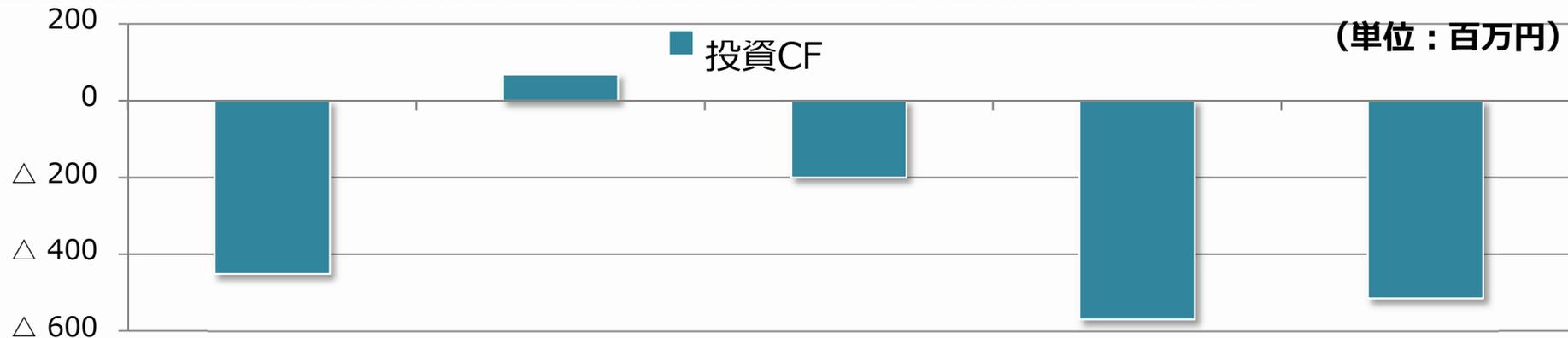
高精度な離床・見守りセンサー EVER Relief
として製品化

- 介護ベッドに取り付け、起き上がり動作を検知してナースコール通知
- 複数のセンサーで離床動作を正確に検知し、誤報・失報が少ない

離床リスク検知センサー
EVER Relief



近年の事業開発投資



'13/6期
(第55期)

2012/10. プロメテック・ソフトウェアとの資本・業務提携

'14/6期
(第56期)

2015/3. けいはんな学研都市ATRベンチャーNVCC投資事業ファンドへの出資

'15/6期
(第57期)

2016/3. 日本郵船、ウェザーニューズ等と共同でシンガポールにSymphony Creative Solutions Pte. Ltd.を設立

'16/6期
(第58期)

2016/1. モバイル・インターネットキャピタル4号投資への参加

2016/3. 東京大学生産技術研究所と社会連携研究部門を設置

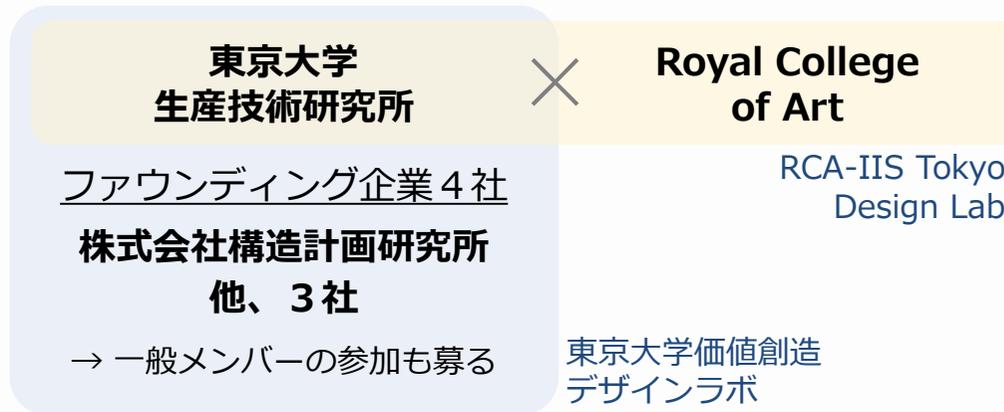
'17/6期
(第59期)

2017/1. Wi-Fi型スマートロック「Remote Lock」販売開始

大学との協業「東京大学価値創造デザインラボ」

「東京大学価値創造デザインラボ」に設立メンバーとして参画

- 東京大学生産技術研究所 野城智也教授との関係による新しい取り組み
- 英国ロイヤルカレッジオブアートと東京大学生産技術研究所の共同ラボと連携した活動



デザイン思考とエンジニアリング思考の 融合によるイノベーション創出を目的

- 人材育成：能力構築活動、啓発活動
- プロトタイピング活動：生産技術研究所や参画企業の技術シーズを具現化



東京大学生産技術研究所Webサイトより
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/news/2747/>

人材の育成 外部組織への派遣



国内外を問わず、多様な場での経験を通じて人材を育成

外国籍採用実績



国籍例

- 中国
- シンガポール
- 韓国
- インドネシア
- フィリピン
- マレーシア
- イラン
- インド
- スペイン
- ベトナム
- ペルー
- ポーランド
- ミャンマー

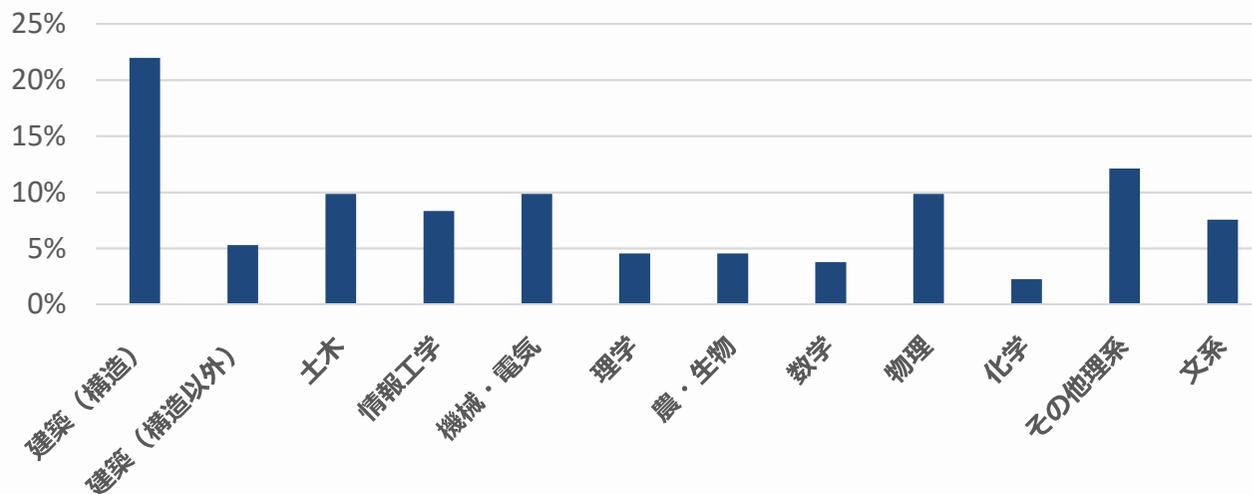
人材の育成 採用実績

14年～18年
入社（予定）合計

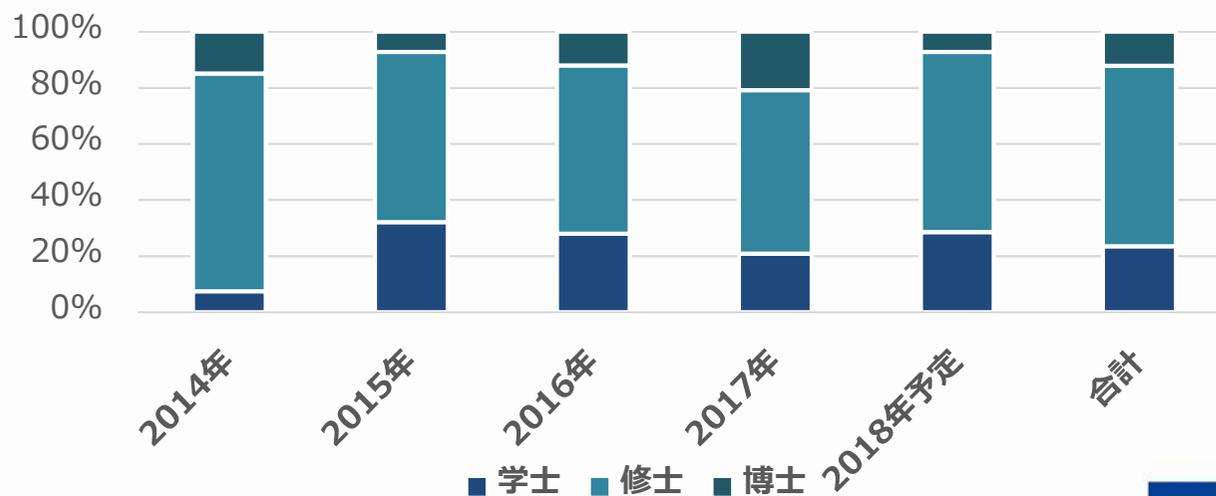
114名

出身校上位 ('14/4月～'18/4月入社予定)	比率
東京大学	11%
京都大学	8%
東京工業大学	7%
シンガポール国立大学	5%
筑波大学	5%
九州大学	5%
千葉大学	5%
東京理科大学	5%
南洋理工大学	4%
大阪大学	4%
バンドン工科大学	3%
日本大学	3%
熊本大学	2%
早稲田大学	2%
奈良女子大学	2%

出身専攻系統



学歴別比率



大学・学会等の社外活動を通じた自己研鑽の奨励

● 積極的な社外活動の推奨

- 所属学会数：15、所属団体数：29
- 社外団体での委員会・研究会等活動 125団体66名
- 社外発表論文および出版図書 97件

● シャドーワークの場の整備

- 常時利用可能なライブラリを開設
参考図書や集中作業スペースを設置



(参考情報)

2017年8月時点の保有特許件数 62件 (+出願中24件)
2016年度 新興市場における情報通信分野企業 特許資産規模 第2位、
特許件数 第1位 (株)パテントリザルト調査)

KKE Vision

- 当社のThoughtを発信し、未来像や姿勢を共有できる
“ファンづくり” および“深耕”
- 様々なステークホルダーをブリッジする組織として、つなぐ場の創出
- Professional Design & Engineering Firmを標榜する
技術コンサルティング企業としての具体的なイメージの発信、浸透

◆ KKE Vision 2017

- 10月24日（火）ハイアットリージェンシー（新宿）
- 基調講演：田原 総一郎 氏
「デジタル社会ニッポン、徹底検証。
～日本コンピュータ産業の黎明期から現在・未来まで～」

本日はお忙しい中お越しいただき
誠にありがとうございました

今後とも当社を何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社構造計画研究所 財務部

T E L : 03-5342-1142

F A X : 03-5342-1242

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>

Innovating for a **Wise Future**